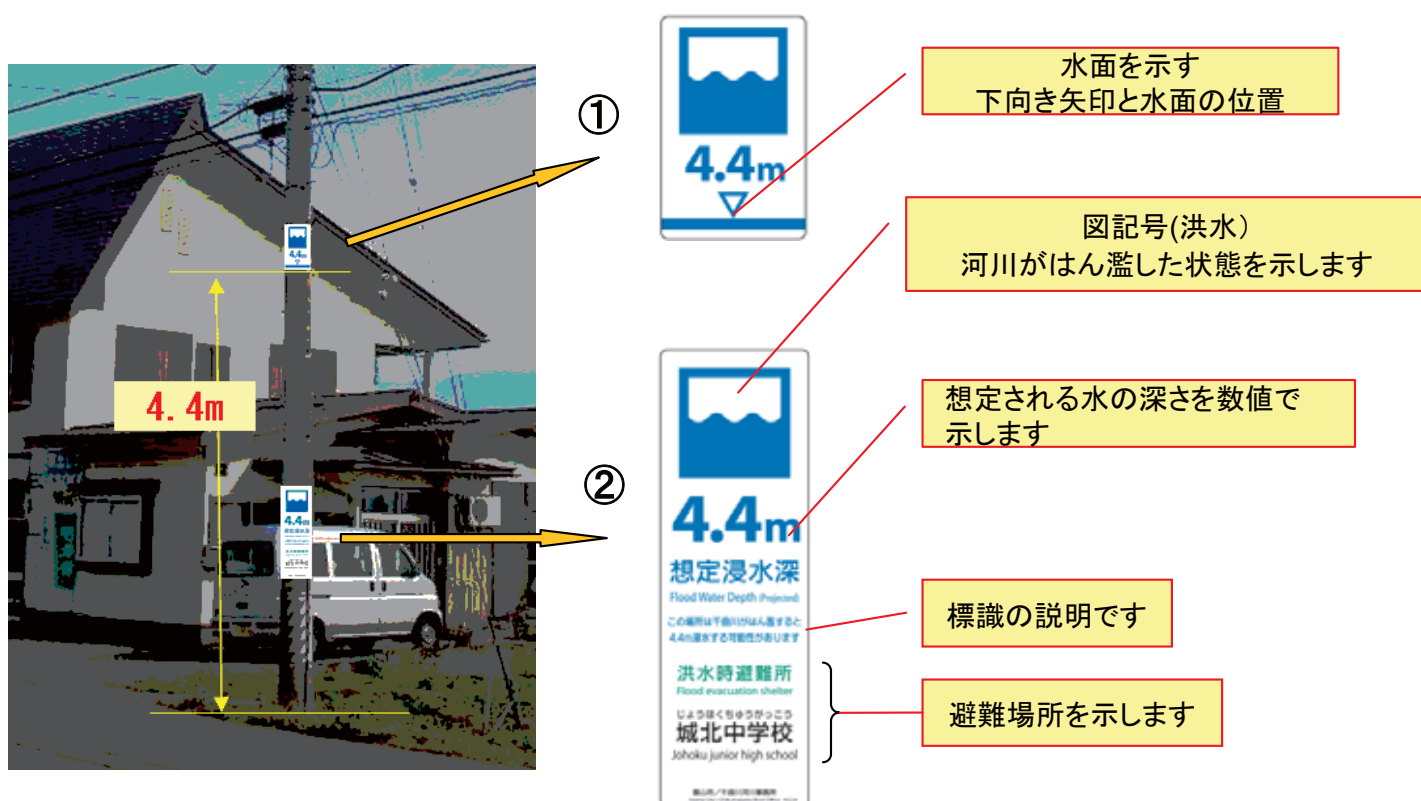


飯山市 まるごとまちごとハザードマップ

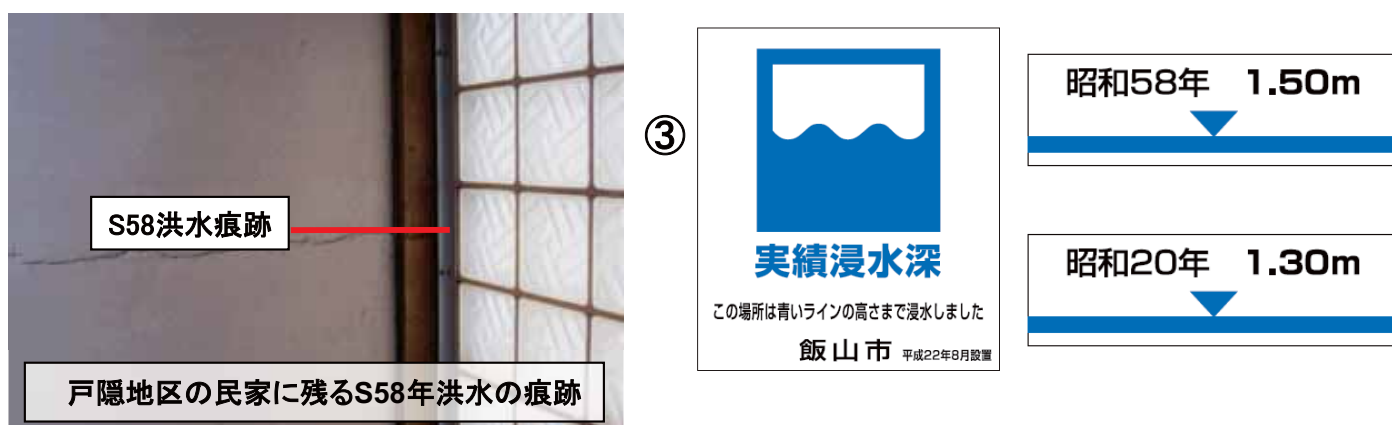
●標識の特徴

- ①表示板を設置する箇所の想定される浸水の深さ(高さ)を表示。
(電柱の配電設備等の条件により設置可能な箇所のみ設置)
- ②千曲川が100年に1回の大規模な洪水により、はん濫した時に
想定される浸水の深さと避難場所を表示。



「想定浸水深」を表示する標識のイメージ (千曲川河川事務所設置)

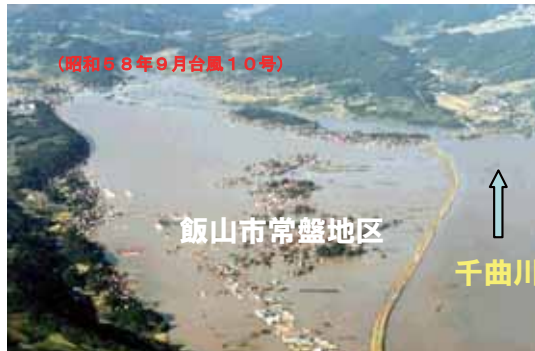
- ③過去の洪水痕跡を基に、過去に記録した浸水の深さ(高さ)を表示。



「実績浸水深」を表示する標識のイメージ (飯山市設置)

まるごとまちごとハザードマップ設置箇所図

昭和 57、58 年に、洪水で大きな被害を受けた経験を持つ飯山市常盤地区内の公会堂や電柱など、**合計34箇所**(千曲川河川事務所設置分22箇所、飯山市設置分12箇所)に標識を設置しました。



千曲川本川の堤防が破堤

飯山市常盤地区における昭和58年9月台風10号の浸水状況

